

棚倉町商工会
創立30周年記念式典



と き 平成2年11月15日(木)

ところ 棚倉町 さわ田別館

棚 倉 町 商 工 会

棚倉町商工会創立30周年記念式典 実行委員

委員長	(棚倉町商工会長)	藤	田	嘉平二	田
副委員長	(棚倉町商工会副会長)	大	平	義	明
"	"	鶴	沼	国	幸
委員	(棚倉町商工会理事)	藤	田		満
"	"	富	沢	崇	行
"	"	面	川	勝	良
"	"	野	村	昭	光
"	"	吉	田	勝	博
"	"	沢	田	昌	彦
"	"	鈴	木	春	市
"	"	吉	田	昭	寿
"	"	田	村	富	喜
"	"	大	塚	政	光
"	"	佐	藤	一	夫
"	"	中	丸	文	平
"	"	藤	田	栄	一
"	"	藤	田	喜	一
"	"	吉	田	正	吾
"	"	仁	平	健	四郎
"	"	小	針	武	男
"	"	佐	川		憲
"	"	柿	沼	隆	夫
"	"	小	浜	一	郎
"	"	小	河原	康	広
"	"	原		光	子
"	"	宗	田	英	昭

委	員	(棚倉町商工会理事)	佐藤政文
〃	〃	〃	金沢紀雄
〃	〃	〃	吉田勝英
〃	〃	〃	金沢寛二
〃	〃	〃	山内磐生
〃	〃	〃	宗田利八郎
〃		(棚倉町商工会監事)	佐川信太郎
〃	〃	〃	高信清士
〃		(棚倉町商工会青年部長)	小河原康広
〃		(棚倉町商工会青年部副部長)	立原龍一
〃	〃	〃	須藤真一
〃		(棚倉町商工会婦人部長)	原光子
〃		(棚倉町商工会婦人部副部長)	佐川愛子
〃	〃	〃	牧野シゲ子

式典趣旨

商工会の組織等に関する法律(商工会法)施行30周年の記念すべき年を迎え、これまでの商工会活動をふり振り返り、新たな躍進と、発展を期する為に商工会関係者が一堂に会し、盛大に記念式典を開催するものであります。

顧りみれば、昭和35年商工会法が制定されるや、昭和23年に設立し町の振興発展に寄与してきた棚倉町振興会及び、近津商工会が発展的に解消し、昭和35年10月15日に設立総会を開催し同年11月14日に認可され、棚倉町商工会が立派に誕生したのであります。以来、小規模事業者の経営改善普及事業の推進及び、地域振興発展に年々大きな実績をあげて参りました。また、昭和37年5月27日に棚倉町商工会青年部が結成され、更に昭和41年6月21日に同婦人部が結成され、それぞれ法の趣旨にのっとり誠心誠意経営改善普及事業の効果的推進と組織強化に努め今日に至ったのであります。

しかしながら、現下の経済環境は顕著なる消費と旺盛な設備投資の伸びに支えられ、景気は順調な拡大基調で推移しました。しかし本年8月、中東の問題により世界経済情勢は大きく変化し、先きゆき不透明な状態にあり、非常に不安をいだく情勢にあります。しかし本町の産業活動は総じて活発であるが、労働力不足が深刻で人材確保が困難な状況にあり、また商業面では都市間競争の激化及び大中型店の攻勢、需要の多様化と高度情報社会の伸展等、中小企業を取り巻く経済環境は益々厳しいものがあります。

この様な状況の中で本会は、棚倉町の商業振興をいかに図るべきか、前年よりの事業である棚倉町商業活性化計画策定事業を実施中であります。近い将来、その成果が当町商業を大きく向上するものと確信するものであります。

本日ここに棚倉町商工会設立30周年の記念すべき年にあたり、会員580有余と青年部員、婦人部員の総意と総力を結集し、決意も新たに中小企業の発展と商工会の一層の充実を図ろうとするものであります。

式典次第

- | | | |
|------------|--------------------|---------|
| 1. 開式のことば | 式典実行副委員長
商工会副会長 | 大平 義明 |
| 1. 会長挨拶 | 式典実行委員長
商工会会長 | 藤田 嘉平二 |
| 1. 表彰 | | |
| 1. 受賞者代表謝辞 | 前商工会長 | 和田 秀寿殿 |
| 1. 来賓祝辞 | 福島県知事 | 佐藤 栄佐久殿 |
| | 棚倉町町長 | 藤田 満寿恵殿 |
| | 棚倉町議会議長 | 鈴木 尹殿 |
| | 福島県商工会連合会会長 | 有賀 一義殿 |
| | 郡内商工会会長 | 代表者殿 |
| 1. 閉式のことば | 式典実行副委員長
商工会副会長 | 鵜沼 国幸 |

記念講演 演題「地域商業の活性化について」

講師 株式会社 企画室コア

代表取締役 三田 公美子 先生

表 彰 者 名 簿

「町長感謝状」受賞者	藤 田 嘉 平 二 殿
「商工会長感謝状」受賞者	
○退任役員 20年以上	和 田 秀 寿 殿 小 倉 清 殿
○退任役員 15年以上	半 田 信 次 殿 大 野 正 男 殿
○退任役員 10年以上	石 井 馨 殿 鈴 木 栄 殿 松 本 良 一 殿 遠 藤 哲 雄 殿 牧 野 善 八 郎 殿
○退任歴代青年部長	石 井 栄 一 殿 小 林 茂 樹 殿 面 川 勝 良 殿 鈴 木 壮 一 殿 武 光 俊 殿 宗 田 利 八 郎 殿
○退任歴代婦人部長	角 田 つ ね 殿 鈴 木 淑 子 殿 井 上 ヒ デ 殿 立 原 愛 子 殿
○退職事務局長	蛭 田 守 殿 山 内 一 彦 殿
○商工会協力者	吉 田 八 郎 殿 棚 沢 一 郎 殿 鈴 木 勇 次 殿

「商工会長表彰状」受賞者

○在任役員 15年以上

○在任役員 10年以上

○在職職員 20年以上

○在職職員 15年以上

○在職職員 10年以上

面	川	勝	良	殿
佐	川	信	太郎	殿
高	信	清	士	殿
大	平	義	明	殿
藤	田		満	殿
富	沢	崇	行	殿
白	石	光	一	殿
小	針	敏	憲	殿
松	本	シヅ	エ	殿
須	藤	和	子	殿
鈴	木	洋	子	殿

30年のあゆみ

== 1990年 ==

棚倉町商工会

目 次

1. ごあいさつ	棚倉町商工会長	藤田 嘉平二
2. 祝 辞	福島県知事	佐藤 栄佐久
3. 祝 辞	棚倉町長	藤田 満寿恵
4. 祝 辞	福島県商工会連合会長	有賀 一 義
5. 会員数の推移		13
6. 経営改善普及事業の概況		13～14
7. 年度別一般事業の概況		15～23
8. 年度別財政の推移		24
9. 歴代役員一覧表		25～27
10. 在職職員一覧表		28
11. 棚倉町人口の推移		29
12. 川越市との友好盟約について		30
13. 商工会創立30周年記念式典協賛事業所名簿		31



ごあいさつ

棚倉商工会長

藤 田 嘉 平 二

棚倉町商工会30周年記念誌「30年のあゆみ」の編纂にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

棚倉町商工会が設立以来、躍進と発展を続けておりますことは偏えに関係者各位及び会員各位のご指導とご支援の賜と心から感謝申し上げます。

顧みれば、昭和35年に商工会法が施行されまして、昭和23年設立以来、町の振興発展に寄与して参りました棚倉町振興会と近津商工会が発展的に解消し、昭和35年10月に棚倉町商工会が誕生いたしました。以来30年会員各位と歴代役職員が一丸となり、地域経済団体として経営改善普及事業を推進する一方、花まつり・夏まつり・商店連合会の各事業等、地域に密着した一般事業を守り育て、地域振興の発展に大きな実績をあげて参りました。また、昭和37年に商工会青年部、昭和41年には同婦人部が結成されそれぞれ法の趣旨にのっとり誠心誠意事業推進と組織強化に努め今日に至ったのであります。

しかし、ここ数年来継続した好景気に支えられ、順調な拡大基調で推移しましたが、中東問題等により原油の輸入、労働力の不足、都市間競争の激化、大中型店の攻勢等、商工業者を取りまく環境は益々厳しいものがあります。この様な深刻なる事態に対応する為、商工会が地域団体の機能を發揮し、組織の拡充強化と90年代の展望にたって強力に商工会活動を推進しなければなりません。

つきましては、設立30周年の記念すべき年にあたり、決意も新たにし会員580有余と青年部、婦人部の総力を結集し、中小企業の発展に努力してまいりますので、今後共より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様の益々のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げましてごあいさつといたします。



祝 辞

福島県知事

佐 藤 栄 佐 久

棚倉町商工会創立30周年を心からお祝い申し上げます。

貴商工会は、昭和35年10月に設立されて以来、高度成長期からオイルショック、急激かつ大幅な円高、そして内需主導による安定成長期へという激しい経済変動の中にあっても、常に地域商工業発展の原動力として、経営改善普及事業をはじめ各般の事業に積極的に取り組まれ、名実ともに地域の総合経済団体として、今日の地位を築かれたことは、誠に御同慶に堪えません。ここに改めて歴代の役員の方々をはじめ関係者の皆様の御努力に対し心から敬意を表する次第であります。

今日、本県商工業を取り巻く社会経済環境は技術革新、情報化の進展、産業構造調整の進行、価値観の多様化、国際化の進展さらには急速な高齢化の進行等極めて厳しいものがありますが、県といたしましては、県内商工業の一層の発展と県民生活の安定向上のため、各般の施策を積極的に展開しているところであります。

もとより、当該施策をより効果的なものとするためには、事業者の自助努力が肝要であります。地域経済の先導役として商工会の果たすべき役割は極めて大きく、その活躍がますます期待されるところであります。

どうか、この創立30周年を契機に、豊かで活力あるふるさとづくりのため、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、棚倉町商工会のますますの御発展と会員の皆様方の御隆盛を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

棚倉町長

藤 田 満寿恵

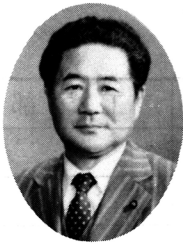
このたび、棚倉町商工会設立30周年を迎えるにあたり一言お祝いのことばを申し上げます。

かえりみますれば、棚倉町商工会は昭和35年10月に町内商工業の先覚者のお骨折りによって地域商工業の総合的發展を図るため創設されました。以来今日迄30年の長きにわたり、常に商工業者の指導育成のため活動を続けられ、昭和59年には会員待望の立派な会館も完成し名実ともに県下屈指の商工会に成長されましたことは、まことに喜ばしいかぎりであります。申すまでもなく、この發展は歴代会長さんをはじめ、役職員一同様のたゆまざる努力の賜であり、多年にわたるご労苦に対し衷心より感謝と敬意を表するものであります。

さて、今日の經濟成長は消費者の本質的ゆとりと合致した内需拡大により順調に推移しておりますが、反面人手不足の深刻化とそれを背景とした人件費や物流コストの上昇が経営上の最大の問題点となっております。また、大店法の規制緩和により中・大型店の進出があいつぎ、既存小売商業者は強烈な影響を受け今後は一層その厳しさが予想されております。

この様な時代こそ中小企業の安定的發展を実現してゆくためには指導機関である商工会の果たす役割とその使命は極めて重要であります。幸いにも次代を担う後継者の会が発足し、若いエネルギーが自ら考え行動する棚倉町商業活性化計画策定事業に着手され、県下に例のない画期的模範事業であり、大いにその成果に期待するものであります。21世紀に向かって躍進する町づくりの基本理念は「北緯37度心ふれあう活力ある棚倉町」で、現在第三次振興計画の後期計画を策定中であり、とりわけ、活力ある町づくりの中核となる商工会の役割は、経営者の創意工夫、積極的な姿勢、いわゆる「やる気」を奮起させるため尚一層の英知を傾注していただけるものと信じております。私も、町政進展のため今後とも商工業をはじめ産業の振興に鋭意取り組んでまいり所存でありますので、皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りにのぞみ、このたびの30周年記念を契機に地域商工業者の最前戦基地として、商工会が益々發展されますよう希望しますとともに、会長さんを始め、関係皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

福島県商工会連合会長

有 賀 一 義

このたび棚倉町商工会が創立30周年を迎えられたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。

さて、今さら申し上げるまでもなく、商工会は昭和35年に制定された商工会の組織等に関する法律（商工会法）により設立、運営されているわけではありますが、思いおせばこの法律の制定は我が国の中小企業者にとってまさに画期的なことでありました。

即ちそれまで個々バラバラの形で存在し、陽の当たらなかつた中小企業、とりわけ小規模企業を日本経済発展の中核として位置づけるとともに、法的な裏づけをもってその育成を図り、地域商工業の振興発展に資するということであります。もちろんこの法律の制定にはそれなりの社会的な背景もあったわけですが、私は関係機関の積極的なご指導とご協力、さらに全国の中小企業者の巾広く粘り強い結束の賜であると確信するものであり、こうした先人のご尽力に改めて尊敬の意を表するものであります。

こうした中で貴商工会は、昭和35年10月県内6番目の商工会として誕生いたしました。以来今日まで30年、経営改善普及事業を中心とした商工会活動を積極的に展開し、棚倉町商工業の発展に大きな役割を果たしてまいりました。そして昭和59年には会員の皆様の協力により立派な商工会館を建築し、小規模事業者の指導機関としての基盤を確立するとともに町商工行政の一翼を担い、その発展のため役職員一丸となって精進しておられることは衆目の一致するところとなっております。

さて、商工会法制定以来30年を経過した現在、日本の経済は大きな変転を遂げ小規模事業者をめぐる社会的・経済的環境は極めて複雑かつ多様化の様相を呈しております。今ここに創立30周年を迎えられたことを機に、貴商工会におかれましてもこうした客観的情勢を的確にとらえられまして、会員並びに地域の皆様の期待に応えるとともに、商工会の益々のご発展と地域経済活性化のため関係者一丸となってご精進下さるようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

会 員 数 の 推 移

年 度 別	会 員 数	商 業 部 会	工 業 部 会
昭 和 35 年	423人		
昭 和 40 年	439		
昭 和 45 年	441		
昭 和 50 年	474		
昭 和 55 年	486		
昭 和 56 年	497		
昭 和 57 年	518		
昭 和 58 年	514		
昭 和 59 年	514		
昭 和 60 年	542	377人	165人
昭 和 61 年	582	399	186
昭 和 62 年	578	391	193
昭 和 63 年	588	395	193
平 成 元 年	588	397	197
平 成 2 年	587	393	202

経 営 改 善 普 及 事 業 の 概 況

○年度別巡回・窓口指導件数(金融・総務・経理・経営・労働・取引・その他)

年 度 別	巡 回	窓 口	年 度 別	巡 回	窓 口
昭和35年	137	23	昭和56年	640	617
昭和40年	334	196	昭和57年	576	537
昭和45年	215	311	昭和58年	1,005	586
昭和50年	288	998	昭和59年	863	649
昭和51年	343	1,174	昭和60年	626	708
昭和52年	361	1,118	昭和61年	638	724
昭和53年	504	1,160	昭和62年	636	729
昭和54年	425	599	昭和63年	826	863
昭和55年	670	798	平成元年	830	1,019

○年度別金融斡旋件数・斡旋金額状況

年度別	件数	金額	年度別	件数	金額
昭和45年	84	73,200千円	昭和57年	68	179,854千円
昭和50年	122	181,162	昭和58年	61	191,165
昭和51年	168	314,390	昭和59年	59	201,500
昭和52年	127	221,900	昭和60年	61	244,064
昭和53年	92	209,000	昭和61年	56	290,990
昭和54年	67	161,000	昭和62年	80	238,700
昭和55年	84	233,550	昭和63年	131	411,252
昭和56年	94	313,665	平成元年	50	195,000

○年度別講習会・講演会開催状況

年度別	回数	年度別	回数
昭和35年	7	昭和56年	18
昭和40年	26	昭和57年	18
昭和45年	24	昭和58年	20
昭和50年	17	昭和59年	14
昭和51年	23	昭和60年	9
昭和52年	17	昭和61年	9
昭和53年	10	昭和62年	9
昭和54年	11	昭和63年	9
昭和55年	17	平成元年	8

年度別一般事業の概況

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
昭和35年度		10. 3	総代総会開催
10.15	棚倉町商工会設立総会	10. 5	八溝山の歴史と伝説を調査
11. 6	東白珠算競技大会開催（東白農商高校）	10.20	東白珠算競技大会開催
11.14	棚倉町商工会設立認可	11. 5	秋季先進地視察(栃木)
1. 24	年末年始連合売出し こだどり姉妹歌謡ショー	～ 6	
2. 5	年末年始連合売出し 招待旅行	11.18	第2回珠算検定
～ 6	(東京遊覧)	2.10	年末年始大売出し 歌謡ショー
昭和36年度		2.24	第3回珠算検定
4.16	第35回棚倉競輪開催	昭和38年度	
5.27	第1回通常総代会	4.22	花まつり開催
6. 4	春季先進地視察(会津)	5.20	第3回通常総会
8. 6	店員、従業員研修旅行(常盤)	6.26	先進地視察(千葉)
8.17	七夕行事開催	～27	
～18		7.14	第4回珠算検定(484名)
10.18	商工会報第1号発行	7.22	スーパー視察(仙台)
11. 5	秋季先進地視察(栃木)	～23	
～ 6		7.25	金融団との懇談会
2.22	金融状態調査アンケート	8. 7	七夕まつり開催
3. 3	年末年始連合売出し 三橋美智也歌謡ショー	8. 8	中元連合売出し 畠山みどり歌謡ショー
昭和37年度		9.15	店員、従業員研修旅行(茨城)
4. 6	観光八溝号(第1号)受入対策協議会	11. 3	第8回東白珠算競技大会
4.15	第36回棚倉競輪開催	11.15	スーパー視察(平、福島)
5.25	第2回通常総代会	～16	
5.27	棚倉町商工会青年部結成	11.17	第5回珠算検定(436名)
7.10	春季先進地視察(宮城)	2.22	年末年始連合売出し 橋幸夫歌謡ショー
～11		2.23	第6回珠算検定(475名)
7.15	第1回珠算検定	昭和39年度	
8. 6	七夕行事開催	4.19	花まつり開催
～ 7		5.11	第4回通常総会
9.15	店員、従業員研修旅行(会津)	6.24	先進地視察(千葉)
		～25	
		7.12	第7回珠算検定(508名)

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
8.7	七夕まつり開催	6.18	先進地視察(宮城・山形)
8.30	中元連合売出し 北島三郎歌謡ショー	~19	
10.9	秋まつり観光行事開催	6.21	棚倉町商工会婦人部結成
11.12	スーパー視察(仙台)	8.7	七夕まつり開催
~13		8.18	中元連合売出し 三田明歌謡ショー
11.15	第8回珠算検定(494名)	10.9	秋まつり観光行事開催
12.3	先進地視察(栃木)	10.16	商工会運動会開催(城跡)
~4		10.30	東白珠算競技大会
1.11	年末年始連合売出し招待旅行(塩原)	11.20	一般、従業員先進地視察
~12		~21	
1.17	年末年始連合売出し 大木伸夫歌謡ショー	11.22	第14回珠算検定(663名)
2.22	第9回珠算検定(633名)	12.2	工業経営者懇談会
昭和40年度		1.6	紅丸対策関係者協議会
4.25	花まつり全国アマチュア自転車競技大会開催	2.19	第15回珠算検定(589名)
5.20	第5回通常総会	2.19	年末連合売出し 島和彦歌謡ショー
7.2	先進地視察(宮城・山形)	2.24	労災保険事務組合設立認可申請
~3		3.5	年末連合売出し 川治温泉招待
7.11	第10回珠算検定(634名)	~6	
8.7	七夕まつり開催	3.23	業種代表懇談会
8.30	中元連合売出し 都はるみ歌謡ショー	昭和42年度	
10.3	一般従業員福島博覧会見学	4.23	花まつり全国アマチュア自転車競技大会開催
11.9	秋まつり観光行事開催	5.27	第7回通常総会
11.13	産業文化祭協賛	6.4	第16回珠算検定(648名)
11.28	第11回珠算検定(666名)	7.16	自転車ロードレース共催
2.20	第12回珠算検定(818名)	8.7	七夕まつり開催
3.21	年末連合売出し 西郷輝彦歌謡ショー	8.27	中元売出し招待旅行(仙台、山形、松島)
昭和41年度		~28	
4.15	花まつり全国アマチュア自転車競技大会開催	10.9	秋まつり観光行事開催
5.12	第6回通常総会	10.12	従業員研修旅行(会津博覧会)
6.9	第13回珠算検定(771名)	10.28	金融懇談会(金融機関)
		11.5	東白珠算競技大会
		11.5	一般会員研修旅行(栃木)
		~6	
		11.19	第17回珠算検定(616名)
		2.18	第18回珠算検定(613名)
		3.3	年末連合売出し 井沢扇歌謡ショー

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
	昭和43年度	4.19	花まつり素人演芸大会及び剣道大会
4.21	花まつり第40回全国アマチュア自転車競技大会開催	4.26	審議員と業者代表者会議
5.16	第8回通常総会	5.24	第10回通常総会
6.2	第19回珠算検定	6.7	第25回珠算検定
8.7	七夕まつり開催	6.22	観光委員街路灯代表者合同会議
8.25 ～26	中元売出し招待旅行(塩原)200名	8.7	七夕まつり(夜花火大会)
9.13	臨時総会(商工会館建設について)	8.18	中元売出し歌謡ショー
10.9	秋まつり観光行事、中元売出しミス発表会	8.26	中元売出し招待旅行(芦の牧)
11.2 ～4	商品展示会	10.9	秋まつり観光行事
11.20	第20回珠算検定	11.5 ～6	一般会員研修旅行(会津)
1.26 ～27	年末連合売出し招待旅行(鬼怒川)	11.15	第26回珠算検定
1.26 ～27	年末連合売出し招待旅行(大島)	2.14	第27回珠算検定
2.16	第21回珠算検定	3.5	設立10周年式典施行
3.5	商店街診断報告会		昭和46年度
	昭和44年度	4.29	花まつり第42回全国アマチュア自転車競技大会開催
4.22	花まつり第41回全国アマチュア自転車競技大会開催	5.18	第11回通常総会
4.25	事務所を旧森林組合跡に移転	5.24	年末連合売出し 藤圭子歌謡ショー
5.30	第9回通常総会	6.6	第28回珠算検定
6.1	第22回珠算検定	8.7	七夕まつり(夜花火大会)
6.26	臨時総会	8.14	青年部盆踊り大会
8.7	七夕まつり開催	9.14 ～15	一般会員研修旅行(山形)
8.19 ～20	中元売出し招待旅行(川治)	9.19	中元売出し ちあきなおみ歌謡ショー
8.31	町内観光地廻り実施(町役場共催)	9.27 ～28	労務委員会学校めぐり(求人関係)
11.16	第23回珠算検定	10.4	求人説明会
1.23	年末連合売出し招待旅行(三保松原)	10.9	秋まつり観光行事
2.15	第24回珠算検定	10.14 ～15	姉妹都市川越訪問懇談
	昭和45年度	11.21	第29回珠算検定
		12.8	商業委員郡山・白河方面物価調査
		1.23 ～24	年末連合売出し招待旅行(鳴子方面)130名
		2.13	第30回珠算検定

年月日	主 な 事 業 ・ 行 事	年月日	主 な 事 業 ・ 行 事
	昭和47年度	10. 8	秋まつり興業後援
4. 3	商店会合同会議	～10	
4. 23	花まつり第43回全国アマチュア自転車競技大会開催	10.21	東白珠算競技大会
5. 11	第12回通常総会	10.22	観光写真コンテスト
6. 4	第31回珠算検定	～30	
8. 7	七夕まつり	11.18	第35回珠算検定
8. 14	花火大会、盆踊り大会	2. 10	第36回珠算検定
9. 13	中学生町内場業巡り	2. 24	年末年始連合売出し招待歌謡ショー 後援
9. 16	高校生町内場業巡り		昭和49年度
9. 24 ～25	一般会員研修旅行(新潟)	4. 5	花まつりボンボリ点灯
10. 2	雇用促進座談会	4. 15	第2回新規地元就職者を励ます会
10. 7 ～10	工業生産品展示会	4. 28	花まつり第45回全国アマチュア自転車競技大会開催
10. 9	秋まつり観光行事	5. 10	第14回通常総会
10.12	求人説明会	6. 2	第37回珠算検定
10.28	東白珠算競技大会	6. 15	商業モニター会議
11.19	第32回珠算検定	7. 3	役員町内工場視察
12. 9	消費者懇談会	8. 7	夏まつり子供花火大会、野外映画大会
1. 13	年末年始連合売出し招待ショー	8.10	夏まつりフォーク・ロック野外演奏大会
2. 11	第33回珠算検定	8.11	夏まつり納涼演芸大会
	昭和48年度	8.15	夏まつり花火大会、盆踊り大会
4. 10	花まつりボンボン点灯	9. 26	中高校生町内工場見学
4. 22	第44回全国アマチュア自転車競技大会	9.29	東白珠算競技大会
4. 24	新規地元就職者を励ます会	10. 8	秋まつり興業及び第2回工業生産品 ～10 展示会
5. 21	第13回通常総会	11. 7	第38回珠算検定
6. 3	第34回珠算検定	1. 18	事業主経済懇談会
7. 12	雇用対策座談会	1. 26	年末年始連合売出し招待歌謡ショー 後援
7. 26	中高校生町内工場見学	2. 16	第39回珠算検定
8. 7	夏まつり七夕飾り、フォーク・ロックコンサート		昭和50年度
8. 14 ～15	夏まつり盆踊り大会、花火大会	4. 1	花まつりボンボリ点灯
8. 26	中元売出し ニュー塩原招待旅行後援	4. 20	花まつり第46回全国アマチュア自転車競技大会開催

年月日	主 な 事 業 ・ 行 事	年月日	主 な 事 業 ・ 行 事
5.7	第3回新規地元就職者並びに後継者を励ます会	8.13 ～15	工業製品展示会
5.22	第15回通常総会	8.18	夏まつり花火大会
6.1	第40回珠算検定	10.10	第21回東白珠算競技大会
7.12	消費者モニター会議	10.22	移動商工会の実施
8.7	夏まつり七夕飾り	11.21	第44回珠算検定
8.8	夏まつり子供花火大会	1.10	棚倉町商店街診断結果報告会
8.14	夏まつり花火大会、正調盆踊り大会	2.13	第45回珠算検定
9.24	日韓親善自転車競技棚倉大会	3.21	年末連合売出し山口百恵招待歌謡ショー後援
10.2	工業クラブ事例研究会		昭和52年度
10.8 ～9	秋まつり興業後援	4.1	花まつりボンボリ点灯
10.13	移動商工会の実施	4.19	第5回新規地元就職者並びに後継者を励ます会
10.20	中高生町内工場見学	4.24	花まつり第48回全国アマチュア自転車競技大会
11.16	第41回珠算検定	5.18	第17回通常総会
2.15	年末年始連合売出し招待歌謡ショー後援	6.5	第46回珠算検定
2.15	第42回珠算検定	7.21	来春卒就職予定者工場見学会
2.17	工場見学と賃金体系事例研究会	8.7	夏まつり子供花火大会
	昭和51年度	9.20	工業クラブ事例研究会
4.5	花まつりボンボリ点灯	9.25	第22回東白珠算競技大会
4.18	花まつり第47回全国アマチュア自転車競技大会	10.26	移動商工会の実施
5.1	第4回新規地元就職者並びに後継者を励ます会	11.20	第47回珠算検定
5.17	第16回通常総会	11.29	商店街事後指導会
6.6	第43回珠算検定	2.12	第48回珠算検定
6.19 ～21	商店街交通量調査		昭和53年度
6.24	町商工業振興資金会議	4.4	花まつりボンボリ点灯
7.1	建設業関係代表者会議	4.23	花まつり第49回全国アマチュア自転車競技大会
7.3	消費者モニター会議	4.26	第6回地元就職者並びに後継者を励ます会
7.16	工業クラブ事例研究会	5.18	第18回通常総会
7.22	中高生町内工場見学	6.4	第49回珠算検定
8.5 ～7	商店街実施診断	8.5	インターハイロードレース協力
8.10	夏まつり子供花火大会		

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
8.7	夏まつり子供花火大会		昭和55年度
8.13 ～15	工業製品展示会	4.10	花まつりボンボリ点灯
8.14	夏まつり花火大会、正調盆踊り大会	4.11	消費者懇談会
9.4	中高校生地元工場見学会	4.20	花まつり第51回全国アマチュア自転車競技大会
9.29	町内観光地視察	4.25	第8回新規地元就職者を励ます会
10.20	工業クラブ事例研究会	5.10	ジャスコ第1回出店説明会
10.22	第23回東白珠算競技大会	5.20	第20回通常総会
10.30	商工会福島県大会協力（棚倉町総合体育館）	5.30	棚倉町商業活動調整協議会設立
11.19	第50回珠算検定	6.1	第55回珠算検定
11.28	消費者モニター会議	6.28	ジャスコ第2回出店説明会
12.7	金融座談会	7.3	工業クラブ第6回通常総会
1.25	観光振興座談会	7.19	消費者モニター会議
2.4	年末連合売出しピンクレディーショー後援	7.21	ヨークベニマル第1回出店説明会
2.11	第51回珠算検定	7.22	金融懇談会
	昭和54年度	8.7	夏まつり子供花火大会
4.1	花まつりボンボリ点灯	8.14	夏まつり花火大会、正調盆踊り大会
4.22	花まつり第50回全国アマチュア自転車競技大会	9.3	地域問題懇談会
4.25	第7回地元就職者を励ます会	9.9	中高校生地元工場見学会
5.19	第19回通常総会	10.22	設立20周年記念親善ゴルフ大会
6.3	第52回珠算検定	11.13	設立20周年記念式典
7.4	建設業代表者会議	11.16	第56回珠算検定
8.7	夏まつり子供花火大会	2.1	郷ひろみ歌謡ショー協力
8.14	夏まつり花火大会、正調盆踊り大会	2.5	第57回珠算検定
9.13	中高校生地元工場見学会	3.16	就職ガイドブック「棚倉町の企業」作成
9.21	工業クラブ事例研究と工場見学会		昭和56年度
10.14	第24回東白珠算競技大会	4.1	花まつりボンボリ点灯
10.16	移動商工会	4.19	第52回全国アマチュア自転車競技大会
10.25	八溝山頂標識建立	4.27	第9回地元就職者並びに後継者を励ます会
11.18	第53回珠算検定	5.18	第21回通常総会
11.28	地域問題に関する懇談会	6.7	第58回珠算検定
2.3	年末連合売出しブルガリア国立サーカスショー後援	7.10	来春就職希望者工場見学
2.17	第54回珠算検定	7.27	金融懇談会

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
8.7	夏まつり子供花火大会	6.5	第64回珠算検定
8.14	夏まつり花火大会、歩行者天国	7.30	商工会館建設地鎮祭
9.29	建設業者代表者会議	8.7	夏まつり子供花火大会
11.13	地域問題懇談会	8.14	夏まつり歩行者天国
11.15	第59回珠算検定	9.10	県南地区商工会役職員ソフトボール大会
2.14	第60回珠算検定	10.14	商工会館上棟式
昭和57年度		10.25	地域問題懇談会
4.18	第53回全国アマチュア自転車競技大会	11.12	商工会館備品入札説明会
4.23	第10回新規地元就職者並びに後継者を励ます会	11.20	第65回珠算検定
4.19	第22回通常総会	12.27	建設事務所、消防署商工会館竣工検査
4.24	大型店業種代表者会議	1.10	商工会館県竣工検査
4.25	店舗照明講習会	1.12	商工会館引渡し
6.6	第61回珠算検定	1.18	ミニスーパー出店説明会
6.9	商店近代化対策懇談会	1.20	新庁舎(会館)へ移転
6.24	事務所移転(旧合同庁舎)	2.12	第66回珠算検定
7.26	金融懇談会	2.14	商工会館落成祝賀式典
8.7	夏まつり子供花火大会	2.19	商工会落成記念講演会
8.14	夏まつり歩行者天国	3.21	大型店対策臨時総会
9.17	大型店対応懇談会	昭和59年度	
10.2	県南地区商工会役職員ソフトボール大会	4.12	大型店対策協議会役員会
10.15	飲食店経営講習会	4.22	第55回全国アマチュア自転車競技大会
11.21	第62回珠算検定	4.27	共同施設事業診断
12.10	近隣商工会館視察及び打合せ	5.8	第12回新規地元就職者並びに後継者を励ます会
1.20	地域問題啓発活動講演会	5.14	大型店対策協議会役員会
2.13	第63回珠算検定	5.21	第24回通常総会
2.16	会館建設総務部会	6.3	第67回珠算検定
2.21	会館建設方部別説明会	7.17	中高校生地元工場見学会
3.25	地域商工業振興懇談会	8.2	大型店対策協議会役員会
昭和58年度		8.7	夏まつり子供花火大会
4.26	第11回新規地元就職者並びに後継者を励ます会	8.14	夏まつり歩行者天国
4.30	商工会館建設委員会	8.21	設備近代化診断
5.20	第23回通常総会	9.8	県南地区商工会役職員ソフトボール大会

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
10. 3	大型店問題懇談会	4. 24	第14回新規地元就職者並びに後継者を励ます会
10. 21	第29回東白珠算競技大会	5. 22	第26回通常総会
10. 24	業種別代表者懇談会	6. 8	第73回商工会珠算検定
11. 9	地域問題懇談会	7. 25	金融懇談会
11. 18	第68回珠算検定	8. 7	夏まつり子供花火大会
12. 4	地域問題啓発活動講演会	8. 8	高校との懇談会
2. 17	第69回珠算検定	8. 14	夏まつり歩行者天国
3. 27	金融懇談会	8. 28	高校生地元工場見学会
	昭和60年度	9. 13	商工貯蓄推進委員会
4. 10	商調協委員勉強会	9. 17	八溝山頂模識建立
4. 21	第55回全国アマチュア自転車競技大会	9. 27	県南地区商工会役職員親善ソフトボール大会
4. 25	第13回新規地元就職者並びに後継者を励ます会	10. 26	第31回東白珠算競技大会
5. 21	第25回通常総会	11. 16	第74回商工会珠算検定
6. 9	第70回珠算検定	1. 14	記帳機械化研修会
6. 21	パソコン、ワープロ基礎講習会	2. 15	第75回商工会珠算検定
7. 18	高校生地元工場見学会		昭和62年度
8. 7	夏まつり子供花火大会	4. 23	第15回新規地元就職者並びに後継者を励ます会
8. 14	夏まつり歩行者天国	4. 26	第57回全国アマチュア自転車競技大会
8. 27	街路灯組合連合会役員会	5. 22	第27回通常総代会
9. 6	街路灯組合長会議	6. 14	第76回商工会珠算検定
9. 7	県南地区商工会役職員ソフトボール大会	7. 13	高校生の地元工場見学会
10. 6	第30回東白珠算競技大会	8. 8	夏まつり子供花火大会、盆踊り大会
10. 28	地域問題懇談会	8. 14	夏まつり歩行者天国
11. 2	街路灯落成祝賀会	9. 19	県南地区商工会役職員親善ソフトボール大会
11. 17	第71回珠算検定	10. 21	金融公庫特別相談日
11. 22	啓発活動講演会	10. 25	第32回東白珠算競技大会
1. 21	企業研修セミナー講習会	11. 15	第77回商工会珠算検定
2. 5	古町駐車場事後指導	12. 15	地域問題懇談会
2. 16	第72回珠算検定	1. 7	年末調整指導会
3. 19	食料品経営講習会	1. 22	ライオン堂出店説明会
	昭和61年度	2. 10	工業経営セミナー
4. 20	第56回全国アマチュア自転車競技大会	2. 14	第78回商工会珠算検定
		3. 25	金融懇談会

年月日	主な事業・行事	年月日	主な事業・行事
	昭和63年度	8.7	夏まつり子供花火大会
4.17	第58回全国アマチュア自転車競技大会	8.14	夏まつり歩行者天国
4.19	ライオン堂出店説明会	8.22	消費税講演会
4.24	第16回新規地元就職者並びに後継者を励ます会	9.22	棚倉町商店会連合会設立総会
5.20	第28回通常総代会	10.6	県南商工会役職員親善ソフトボール大会
5.26	中型店出店調整小売業代表者会議	10.29	第34回東白珠算競技大会
6.12	第79回商工会珠算検定	11.19	第83回珠算検定
6.16	東白川商工会親善ゴルフ大会	12.20	地域問題懇談会
8.7	夏まつり子供花火大会、盆踊り大会	1.30	中規模店(株しまむら)出店説明会
8.10	地元高校との懇談会	2.18	第84回珠算検定
8.14	夏まつり歩行者天国	2.19	大型店(株カンセキ)出店説明会
9.10	県南地区商工会役職員親善ソフトボール大会	2.20	商業振興後継者会議
9.26	いせや増床説明会	3.20	講演会(経営に役立つ新聞の見方)
10.18	冷害対策資金打合せ会		平成2年度
10.23	第33回東白珠算競技大会	4.10	ルネサンス棚倉オープンセレモニー
10.26	八溝山頂標識点検修理	4.20	ルネサンス棚倉オープン
10.28	地域問題懇談会	4.23	商調協(株)カインズ申請確認結審
10.31	中型店出店計画説明会	4.25	第18回地元就職者並びに後継者を励ます会
11.20	第80回商工会珠算検定	4.29	東日本サイクルスポーツフェスティバルフリテリウム棚倉大会
2.19	第81回商工会珠算検定	5.22	第30回通常総代会
2.21	消費税講演会	5.28	金融団との懇談会
3.24	ルネサンス棚倉施設説明会	6.8	東白川商工会親善ゴルフ大会
	平成元年度	7.6	商業活性化補助ヒアリング
4.12	中型店(株ナカヤ)調整会議	7.8	第85回珠算検定
4.24	第17回地元就職者並びに後継者を励ます会	7.27	地元高校との懇談会
4.29	第59回全国アマチュア自転車競技大会	8.7	夏まつり子供花火大会 近津・杜川
5.19	第29回通常総代会	8.14	夏まつり歩行者天国
6.12	東白川商工会親善ゴルフ大会	8.15	夏まつり子供花火大会 高野
6.15	商調協委員委嘱状交付	9.6	県南商工会役職員親善ソフトボール大会
7.12	地元高校との懇談会	9.12	商工貯蓄推進委員会
		9.20	経営実態調査報告会
		10.2	中小商業活性化事業発会式
		10.21	第35回東白珠算競技大会
		11.15	設立30周年記念式典

年度別財政の推移（平成２年度は予算計上）

年度	収			入		
	会費	国・県補助金	市町村補助金	手数料	その他	計
昭35	184,400	184,000	50,000	0	182,436	565,086
昭40	483,440	698,000	1,230,000	175,620	704,026	3,291,086
昭45	1,223,700	1,774,824	1,900,000	512,405	1,364,622	6,755,551
昭50	2,424,200	9,228,670	4,450,000	2,031,665	4,227,020	22,361,555
昭55	3,945,000	12,976,810	6,400,000	4,336,415	8,228,347	35,886,572
昭56	4,096,000	15,646,720	7,200,000	3,870,916	8,049,963	38,863,599
昭57	4,195,500	15,664,000	6,550,000	4,357,880	7,952,398	38,719,778
昭58	4,144,500	会館建設 (22,500,000) 38,932,000	会館建設 (10,000,000) 16,580,000	4,402,939	10,452,388	74,511,827
昭59	4,277,000	17,087,000	会館建設 (10,000,000) 16,505,000	5,052,951	5,992,837	48,914,788
昭60	4,461,500	17,611,000	6,430,000	6,035,936	7,015,089	41,553,525
昭61	4,707,500	19,734,000	6,410,000	4,911,715	9,754,787	45,518,002
昭62	4,693,000	17,276,000	7,845,193	5,129,337	10,346,063	45,289,593
昭63	4,756,500	20,106,000	9,278,067	5,840,697	11,406,009	51,387,273
平成元	4,878,000	22,027,000	11,382,272	5,463,041	12,588,933	56,339,246
平成2	4,832,000	20,302,000	11,566,000	6,646,000	11,442,435	54,288,435

年度	支				計
	経営改善普及費	一般事業費	管理費	その他	
昭35	238,366	5,480	197,871	94,470	539,187
昭40	903,757	1,245,930	1,127,360	0	3,277,087
昭45	2,240,028	2,305,845	2,196,010	0	6,741,883
昭50	11,867,696	5,659,012	4,445,983	210,423	22,183,114
昭55	19,248,719	8,580,702	4,655,658	92,553	32,577,635
昭56	23,102,396	9,714,523	4,193,059	1,062,800	38,072,778
昭57	20,330,315	8,721,120	7,573,283	1,500,000	38,124,718
昭58	21,506,529	44,710,404	7,824,188	0	74,041,121
昭59	21,912,069	17,411,726	8,857,806	0	48,181,601
昭60	22,607,283	8,544,296	9,042,979	500,000	40,694,558
昭61	24,933,835	10,087,688	9,510,877	500,000	45,032,400
昭62	23,369,213	9,786,710	9,516,743	1,945,700	44,618,366
昭63	28,026,616	10,903,243	9,562,445	1,949,600	50,441,904
平成元	31,244,235	12,555,682	10,455,044	894,850	55,149,811
平成2	28,523,000	15,993,000	10,257,000	15,435	54,788,435

歴代役員一覧表

年度 職名	昭和35年度	昭和40年度	昭和45年度	昭和50年度	昭和55年度	昭和56年度
会 長	藤田 豊作	渡辺 正雄	渡辺 正雄	半田 信次	和田 秀寿	和田 秀寿
副 会 長	宗田 謙	吉田 幸蔵	緑川 百代	大野 正男	大野 正男	大野 正男
”	竹田 茂隆	竹田 茂隆	半田 信次	和田 秀寿	藤田嘉平二	藤田嘉平二
理 事	佐藤 清一	市川 秋雄	杉山 茂	広瀬 久光	藤田 満	藤田 満
”	杉山 一清	辺見 新一	大沼 亀寿	鈴木日出夫	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄
”	小林 一郎	高橋喜久弥	菊地 富吉	菊地 富吉	松本 良一	松本 良一
”	近藤 重良	吉成 正二	立原 新平	辺見 義二	蕪木 泰二	蕪木 泰二
”	武川 元市	武川 元市	和田 秀寿	大沼 清	吉田 鉄夫	吉田 鉄夫
”	高田喜久三	戸倉 正	高田 喜一	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎
”	狸塚 量助	渡辺 清	吉田 昆吉	鈴木 昭三	藤田 暉男	藤田 暉男
”	川瀬 信雄	齊藤俊一郎	遠藤英一郎	石井 馨	石井 馨	石井 馨
”	川丘 孝男	小倉 清	須藤 友弥	穂積 四郎	鈴木 勉	鈴木 勉
”	大竹助太郎	和田 善三	渡辺 宏	渡辺 大蔵	大平 義明	大平 義明
”	富沢 欽哉	富沢 欽哉	真岡 典雄	深谷 新次	石井 久雄	石井 久雄
”	小森 市雄	小森 市雄	古沢 義孝	古沢 義孝	照沼 義勝	照沼 義勝
”	松本 宗次	松本 宗次	大高 徳司	大高 徳司	富沢 嵩行	富沢 嵩行
”	久保田兼次	落合 包時	大野 正男	後藤 賢勇	後藤 賢勇	後藤 賢勇
”	藤田 勝栄	藤田 勝栄	藤田嘉平二	藤田嘉平二	水野 一夫	水野 一夫
”	緑川 百代	緑川 百代	鎌田 幹雄	倉渕 英男	倉渕 英男	倉渕 英男
”	和知 喜久	和知 喜久	沼田 清次	鈴木 栄	鈴木 栄	鈴木 栄
”	宗田 定三	坂本幸太郎	安部 栄	大楢 実	太田 信治	太田 信治
”	藤田 嵩	宗田喜八郎	竹田 茂	高信 清士	高信 清士	高信 清士
”	近藤 政信	伊藤源次郎	藁谷 嵩	高坂 浩司	笥 忠	笥 忠
”						鶴沼 国幸
”						鈴木 壮一
”						井上 ヒデ
”						
”						
監 事	半田 信次	半田 信次	小倉 清	小倉 清	小倉 清	小倉 清
”	宗田喜八郎	蕪木 房雄	上田豊次郎	上田豊次郎	牧野善八郎	牧野善八郎
青年部長		金沢 武久	面川 勝良	面川 勝良	鈴木 壮一	鈴木 壮一
婦人部長			鈴木 淑子	鈴木 淑子	井上 ヒデ	井上 ヒデ

年度 職名	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度
会 長	和田 秀寿	和田 秀寿	和田 秀寿	和田 秀寿	和田 秀寿	和田 秀寿
副 会 長	大野 正男	大野 正男	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二
理 事	藤田 満	藤田 満	藤田 満	藤田 満	藤田 満	藤田 満
〃	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄
〃	松本 良一	松本 良一	松本 良一	松本 良一	松本 良一	松本 良一
〃	蕪木 泰二	蕪木 泰二	蕪木 泰二	蕪木 泰二	高田 喜弘	高田 喜弘
〃	吉田 鉄夫	吉田 鉄夫	吉田 鉄夫	吉田 鉄夫	市本 節雄	市本 節雄
〃	高田 喜弘	高田 喜弘	高田 喜弘	高田 喜弘	小林 茂樹	小林 茂樹
〃	市本 節雄	市本 節雄	市本 節雄	市本 節雄	佐藤 一夫	佐藤 一夫
〃	面川 勝良	面川 勝良	面川 勝良	面川 勝良	面川 勝良	面川 勝良
〃	鈴木 勉	鈴木 勉	川瀬 勝三	川瀬 勝三	川瀬 勝三	川瀬 勝三
〃	大平 義明	大平 義明	大平 義明	大平 義明	大平 義明	大平 義明
〃	石井 久雄	石井 久雄	石井 久雄	石井 久雄	鈴木 春市	鈴木 春市
〃	照沼 義勝	照沼 義勝	吉田 勝博	吉田 勝博	富沢 崇行	富沢 崇行
〃	富沢 崇行	富沢 崇行	富沢 崇行	富沢 崇行	吉田 勝博	吉田 勝博
〃	後藤 賢勇	後藤 賢勇	渡辺 敏雄	渡辺 敏雄	野沢 武嘉	野沢 武嘉
〃	水野 一夫	水野 一夫	関口 政雄	関口 政雄	市川 恒雄	市川 恒雄
〃	倉渕 英男	倉渕 英男	倉渕 英男	倉渕 英男	沢田 昌彦	沢田 昌彦
〃	鈴木 栄	鈴木 栄	沢田 昌彦	沢田 昌彦	斉藤 孝志	斉藤 孝志
〃	市川 恒雄	市川 恒雄	市川 恒雄	市川 恒雄	中丸 文平	中丸 文平
〃	高信 清士	高信 清士	高信 清士	高信 清士	倉渕 英男	倉渕 英男
〃	伊藤 博美	伊藤 博美	小松 寿一	小松 寿一	渡辺 敏雄	渡辺 敏雄
〃	鶴沼 国幸	鶴沼 国幸	鶴沼 国幸	鶴沼 国幸	田村 富喜	田村 富喜
〃	鈴木 壮一	鈴木 壮一	鈴木 壮一	武 光俊	藤田 栄一	藤田 栄一
〃	井上 ヒデ	井上 ヒデ	井上 ヒデ	立原 愛子	大塚 政光	大塚 政光
〃	塩田 正志	金沢 弘文	野村 昭光	野村 昭光	佐藤 義春	佐藤 義春
〃	斉藤 一志	斉藤 一志	斉藤 一志	斉藤 一志	吉田 昭寿	吉田 昭寿
〃					鶴沼 国幸	鶴沼 国幸
〃					野村 昭光	野村 昭光
〃					武 光俊	宗田利八郎
〃					立原 愛子	立原 愛子
監 事	牧野善八郎	牧野善八郎	牧野善八郎	牧野善八郎	牧野善八郎	牧野善八郎
〃	藤田 一郎	藤田 一郎	藤田 一郎	藤田 一郎	佐川信太郎	佐川信太郎
青年部長	鈴木 壮一	鈴木 壮一	鈴木 壮一	武 光俊	武 光俊	宗田利八郎
婦人部長	井上 ヒデ	井上 ヒデ	井上 ヒデ	立原 愛子	立原 愛子	立原 愛子

職名	年度		
	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
会 長	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二
副 会 長	石井 馨	石井 馨	大平 義明
”	大平 義明	大平 義明	鶴沼 国幸
理 事	藤田 満	藤田 満	藤田 満
”	遠藤 哲雄	遠藤 哲雄	宗田 英昭
”	松本 良一	松本 良一	金沢 紀雄
”	佐川 憲	佐川 憲	佐藤 一夫
”	市本 節雄	市本 節雄	藤田 喜一
”	藤田 喜一	藤田 喜一	佐川 憲
”	佐藤 一夫	佐藤 一夫	金沢 寛二
”	面川 勝良	面川 勝良	面川 勝良
”	小針 武男	小針 武男	小針 武男
”	仁平健四郎	仁平健四郎	仁平健四郎
”	鈴木 春市	鈴木 春市	鈴木 春市
”	富沢 崇行	富沢 崇行	富沢 崇行
”	吉田 勝博	吉田 勝博	吉田 勝博
”	吉田 正吾	吉田 正吾	吉田 正吾
”	市川 恒雄	市川 恒雄	沢田 昌彦
”	沢田 昌彦	沢田 昌彦	宗田利八郎
”	斉藤 孝志	斉藤 孝志	山内 磐生
”	中丸 文平	中丸 文平	中丸 文平
”	倉渕 英男	小浜 一郎	田村 富喜
”	渡辺 敏雄	渡辺 敏雄	藤田 栄一
”	田村 富喜	田村 富喜	小浜 一郎
”	藤田 栄一	藤田 栄一	佐藤 政文
”	大塚 政光	大塚 政光	大塚 政光
”	柿沼 隆夫	柿沼 隆夫	柿沼 隆夫
”	吉田 昭寿	吉田 昭寿	吉田 昭寿
”	鶴沼 国幸	鶴沼 国幸	吉田 勝英
”	野村 昭光	野村 昭光	野村 昭光
”	宗田利八郎	小河原康広	小河原康広
”	立原 愛子	原 光子	原 光子
監 事	牧野善八郎	牧野善八郎	佐川信太郎
”	佐川信太郎	佐川信太郎	高信 清士
青年部長	宗田利八郎	小河原康広	小河原康広
婦人部長	立原 愛子	原 光子	原 光子

在 職 職 員 一 覧 表

年度 職名	昭和35年度	昭和40年度	昭和45年度	昭和50年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
事務局長	大峰 巖			武地 弘司	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守 (63.3.31定年退職) 山内 一彦 (62.8.1より)	山内 一彦	山内 一彦	山内 一彦 (2.3.31町へ復帰) 佐藤 周平 (2.4.1採用)
経営 指導員	大峰 巖	大峰 巖	小野里保雄	小野里保雄 中島 修三	武地 弘司 小針 敏憲	武地 弘司 小針 敏憲	武地 弘司 小針 敏憲	武地 弘司 小針 敏憲	武地 弘司 梅沢 元善 (59.4.1より) 小針 敏憲	梅沢 元善 小針 敏憲	梅沢 元善 小針 敏憲	白石 光一 (62.7.1より) 小針 敏憲	白石 光一 小針 敏憲	白石 光一 小針 敏憲	白石 光一 小針 敏憲
補助員		田部井俊子	田部井俊子	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ
記帳専任 職員			甲賀 謙寿	向井 正 鈴木 和代 須藤 和子	須藤 和子	須藤 和子	向井 正 (57.4.1付) 寺島 洋子 (58.4.1付)	向井 正 寺島 洋子 (58.4.1付)	向井 正 鈴木 洋子 (58.10改姓)	向井 正 鈴木 洋子	向井 正 鈴木 洋子	鈴木 洋子 須藤 和子	鈴木 洋子 須藤 和子	鈴木 洋子 須藤 和子	鈴木 洋子 須藤 和子
記帳指導 職員					向井 正 寺島 洋子	向井 正 寺島 洋子	向井 正 (57.3.31解任) 寺島 洋子	寺島 洋子 (58.3.31解任)							
記帳 指導員			小林 正四												
一般職員	佐藤 愛子	星野 美雄 鳥居塚征子	星野 美雄 中川西恵子					須藤 和子 (58.4.1付)	須藤 和子	須藤 和子	須藤 和子	市川 浩昭 (62.8.1採用)	市川 浩昭	市川 浩昭	市川 浩昭

棚倉町人口の推移

(1月1日現在)

年 度	男	女	計	対前年 増△減	百分比
昭和35年	9,358人	9,932人	19,290人	△138人	100%
昭和40年	8,549	9,253	17,802	△213	92
昭和45年	8,248	8,845	17,093	△170	89
昭和50年	7,586	8,425	16,011	△ 50	83
昭和51年	7,640	8,428	16,068	57	83
昭和52年	7,699	8,464	16,163	△ 95	84
昭和53年	7,753	8,451	16,204	41	84
昭和54年	7,763	8,455	16,218	14	84
昭和55年	7,652	8,353	16,005	△213	83
昭和56年	7,779	8,345	16,124	119	84
昭和57年	7,851	8,387	16,238	114	84
昭和58年	7,873	8,390	16,263	25	84
昭和59年	7,906	8,402	16,308	45	85
昭和60年	8,034	8,497	16,531	223	86
昭和61年	8,160	8,582	16,742	211	87
昭和62年	8,225	8,592	16,817	75	87
昭和63年	8,205	8,601	16,806	△ 11	87
平成元年	8,152	8,539	16,690	△115	87
平成2年	8,105	8,549	16,654	△ 37	86

川越市との友好盟約について

46. 8. 19 商工会理事会に於て、川越市との友好関係をもちたい旨提案し、賛意を得る。
8. 24 藤田芳之助町長に川越市との友好関係の趣意を具申し了承を得る。交渉は一任される。
8. 25 旧松平藩温 会棚倉支部山田茂氏にその意を告げ、了承され、川越市温 会幹部で教育委員の佐々木文蔵氏を紹介される。商工会観光委員長和田秀寿氏と同道し川越市に赴く、佐々木文蔵氏と会談、協力したいと共感を受ける。商工会議所及び市役所訪問懇請する。
8. 27 藤田町長、山田茂氏に訪問内容報告する。以後佐々木文蔵氏には仲介役として頻繁に連絡を取り交す。
9. 29 町議会では川越市との交友、交流を計画する。
10. 6 川越市へ表敬訪問する(市役所及び商工会議所)。町より金沢利敏助役、大野仁総務課長、商工会より半田信次会長、立原新平副会長、藤田嘉平二労務委員長が訪問する。
10. 14 川越市永川神社祭礼時に役員研修旅行交換会、両会役員立合いのもと会頭と会長が盟約宣言署名、商工団体の締結成立する。
11. 2 川越市より都築助役、会議所より松山副会頭外役員50名、温 会長石井氏外5名等来棚する。町当局、商工会、温 会合同歓迎懇親会開催。
11. 17 町議会で川越市との交友盟約を議決する。
12. 12 川越市議会でも同様万場一致議決する。
47. 1. 18 川越市に於て加藤滝二市長、藤田芳之助町長が交友都市盟約調印宣言し署名交換をする。
6. 5 加藤川越市長、根岸議長、深田副議長等が棚倉町初来訪。

斯様な経緯を得て川越市とは友好都市として、各種団体等の親善交流が年々盛んに行なわれ、今日に至っている。

元商工会長 半 田 信 次 氏より

商工会創立30周年記念式典 協賛事業所名簿

高田産商株式会社	立原電気工業株式会社
藤田建設工業株式会社	有限会社さわ田
株式会社レナウン棚倉工場	株式会社藤田屋本店
有限会社和田時計店	半田茶舗
高津産業株式会社棚倉工場	大野商店
株式会社藤田組	有限会社石井商会
渡辺産業株式会社	エンドウスポーツ
八溝碎石株式会社	富沢薬局
有限会社なかや文具店	新富家
棚倉町金融団	塩庄
白河信用金庫棚倉支店	株式会社田村組
東邦銀行棚倉支店	株式会社榊屋
福島銀行棚倉支店	株式会社後藤工務店
大東銀行棚倉支店	データアシスト
棚倉開発株式会社	株式会社タカハシ印刷
株式会社ルネサンス棚倉	